

# 北斎 かわらばん

第二十九号



百人一首うはかゑるとき

猿丸太夫

「百人一首うはかゑるとき 猿丸太夫」(大判錦絵)天保6(1835)年頃

北斎作品最後のシリーズも「百人一首うはかゑるとき」より、これからの季節にぴったりな一図です。伝説の歌人、猿丸太夫の和歌「奥山に 紅葉ふみわけ 啼く鹿の 声きく時ぞ 秋はかなしき」を表現した作品です。

この歌は、「人里を離れた山奥で、積もった紅葉を踏み分けながら、雌鹿を恋しがつて鳴く雄鹿の声を聞くとときこそ、秋は悲しいものだ」と感づられる」という内容です。

北斎は、手前に、山仕事から戻る女性たちや刈り取った稲を干す山里といった人間たちの営みを描くことで、晩秋の山奥の寂しさを強調しています。

それでは、歌にも詠まれている鹿はどこにいるのでしょうか。

ヒントは、中央左側の赤い腰巻を着けた女性にあります。彼女の指さす方向をたどってみてください。山頂に二頭の鹿が小さく描かれているのがわかりますか。



小さなシルエットですが、しっかり鹿の特徴を捉えています。「うはかゑるとき」とは、乳母が子どもに教えるように百人一首をわかりやすく絵解きするという意味です。現在このシリーズの作品は、出版が確認できるもので二十七図ありますが、その中でもこの図は歌の意味がわかりやすく表現されており、華やかな色合いで、親しみやすい作品といえるでしょう。

【発行】  
墨田区民活動推進部  
文化振興課  
北斎美術館開設担当  
(墨田区役所1階)  
☎03-5608-6115  
【編集協力】  
(公財)墨田区文化振興財団  
北斎事業課





図1「富嶽三十六景 上総ノ海路」天保2(1831)年頃

現代では、新幹線や飛行機を利用して、短時間で遠くに行くことができますが、江戸時代の交通手段は、船、馬、駕籠がご、そして徒歩でした。旅は、現代よりも多くの時間と体力を必要とする、とても大変なものでした。しかし、北斎は生涯を通じて何度も旅に出て



木更津へ

いました。

北斎の初めての旅は文化三(一八〇六)年の木更津旅行だといわれています。木更津には江戸から船が出ていたため、比較的旅がしやすい場所でした。北斎はこの地の日枝神社ひえに、一メートルを超える大絵馬を奉納しており、「画狂人北斎旅中画」の落款らくかんが記されています。北斎が後年描いた「富嶽三十六景 上総ノ海路かすきのかい」には、まさに江戸と木更津を結ぶ船ふねが描かれています。

名古屋にて『北斎漫画』の誕生

木更津旅行から六年後の文化九年、北斎は名古屋に旅立ちます。北斎の門人で、尾張徳川藩藩士の牧墨僊まきぼくせんに招かれたのです。北斎は牧墨

僊宅に数ヶ月滞在し、三〇〇余図におよぶ下絵を制作します。これらは文化一一年正月、名古屋の版元永楽屋東四郎しろうから『北斎漫画』として出版され、多くの人に読まれました。また、北斎は文化一四年にも再び名古屋の本願寺名古屋別院を訪れ、パフォーマンスを行います。なんと、境内の広場に一二〇畳大につきなぎあわせた



図2『北斎漫画』初編 文化11(1814)年

用紙を広げ、大達磨だだまを描いたのです。

浦賀へ潜伏

北斎の旅は、前向きなものばかりではありませんでした。

使った大筆には米俵五個分の藁わらを用い、完成した絵は櫓やぐらから吊り下げて披露されました。このパフォーマンスにより、名古屋での北斎の評判はより一層高まりました。

天保五(一八三四)三六)年頃、北斎は浦賀へ潜伏していました。

潜伏の理由は明らかとなっていないが、一説には孫が事件をおこしたためとも言われています。北斎はこの期間、三浦屋八右衛門と名乗り、貧窮を極めたようです。

しかしそんな中でも日々教師として努力を重ねていることを江戸の版元に宛てた書簡でアピールしています。

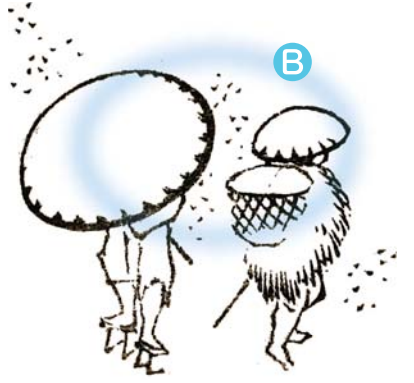
老境を迎えて小布施へ

北斎は、八十五歳になってもなお旅をしています。天保一五(弘化元(一八四四))年、小布施を訪れ、弟子の高井鴻山たかいこうざんのもとに滞在しました。北斎は小布施を数回訪れており、多くの肉筆画を遺しています。長寿をはこつたことで知られる北斎ですが、その旅の足跡からもエネルギーシユな活動ぶりがうかがうことができます。

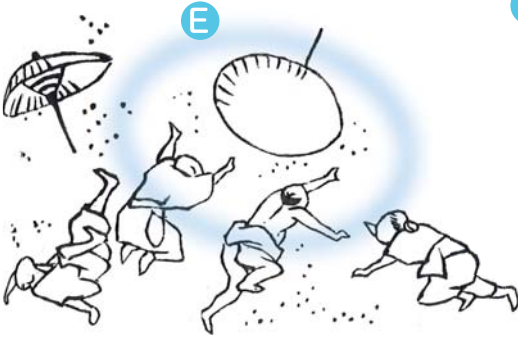


今回も北斎の『画本早引』からのクイズです。前回は動作に関する絵でしたが、今回は気象に  
関係する絵を選んでみました。急に雨に降られたり、突風にあおられたり。さらさらと簡単に描いたように見えますが、北斎は動きを的確に捉えています。

## 絵のタイトルを当てよう



- ① つじかぜ
- ② にっしょく
- ③ にわかあめ
- ④ ふぶき
- ⑤ ほうきぼし



牛嶋神社は、かつては牛の御前と呼ばれた本所の総鎮守です。北斎は、若いころに「新板浮絵三囲牛御前両社之図」という作品で、三囲神社とともに牛嶋神社を一枚の錦絵で描いています。晩年の弘化二（一八四五）年頃には牛嶋神社の近

### 牛嶋神社と北斎

くに住んだといわれ、この年に大絵額「須佐之男命厄神退治之図」（関東大震災で焼失）を描いて奉納しています。

また、境内には、北斎のことを信頼できる友と呼ぶ、落語中興の祖といわれる鳥亭馬（一七四三〜一八二二）の狂歌碑や、北斎の肉筆画に賛を書いたり、『北斎漫画』三編などに序文を寄せたりしている狂歌師で有名な大田南畝（一七四九〜一八二三）の漢詩の石碑があります。牛嶋神社で北斎に思いを馳せてみてください。

すみだと北斎



## 「超絶技!北斎と伝統版画」展

墨田区在住の木版摺師・新味三郎氏(故人)により、区に寄贈された北斎作品の摺上りや、新味氏が実際に摺ったオリジナルの『北斎漫画』の版木を展示し、錦絵や版本の制作工程を紹介します。そのほか、墨田区とゆかりの深いピーター・モース氏(故人)と新味氏の交流を示す書簡を公開します。

江戸時代に生きた絵師・北斎と現代の摺師・新味氏。職人たちの技術の素晴らしさを是非ご堪能ください。

- 会 期 平成27年10月20日(火)～28日(水)
- 時 間 午前9時30分～午後6時まで  
(入場は午後5時30分まで)
- 会 場 すみだリバーサイドホール ギャラリー
- 観覧料 無料
- 主 催 墨田区
- 協 力 公益財団法人墨田区文化振興財団  
株式会社芸艸堂



- 開催日時 10月3日(土)  
午前11時～午後8時
- 会 場 緑町公園  
大横川親水公園噴水広場
- 問い合わせ 北斎通りまらづくりの会  
事務局 03-33624-3939

「北斎祭り実行委員会」では、北斎ゆかりの亀沢地区において、北斎の魅力や面白さを内外に広めるべく、毎年10月に「北斎祭り」を開催しています。

今年の「北斎祭り2015」では、ろうそくを入れた透明のビンで街中を彩った「灯りのフェスティバル」や金魚ねぶたの製作、模擬店など様々な企画が用意されており、この機会にお立ち寄りください。

**北斎祭り2015を  
開催します**

## 第40回すみだまつりに 「すみだ北斎美術館」PRコーナーが 出展します

- 開催日時 10月3日(土)、4日(日)  
午前10時～午後4時
- 会 場 錦糸公園
- 問い合わせ 墨田区文化振興課  
北斎美術館開設担当  
☎ 03-5608-6115



すみだ北斎美術館

下記ホームページでは、すみだ北斎美術館のダイジェスト映像や、無料でダウンロードできるスクリーンセーバーなどをご用意しております。是非、ご覧ください。

<http://hokusai-museum.jp>



**【北斎関連展覧会のご案内】**  
歌麿・英泉・北斎  
磯川浮世絵美術館名品展  
― 浮世絵 太田記念美術館

- 開催日時 前期:10月 2日(金)～10月25日(日)  
後期:10月30日(金)～11月23日(月)
- 開館時間 午前10時30分～午後5時30分  
(入館は午後5時まで)
- 問い合わせ ☎ 03-5777-8600(ハローダイヤル)